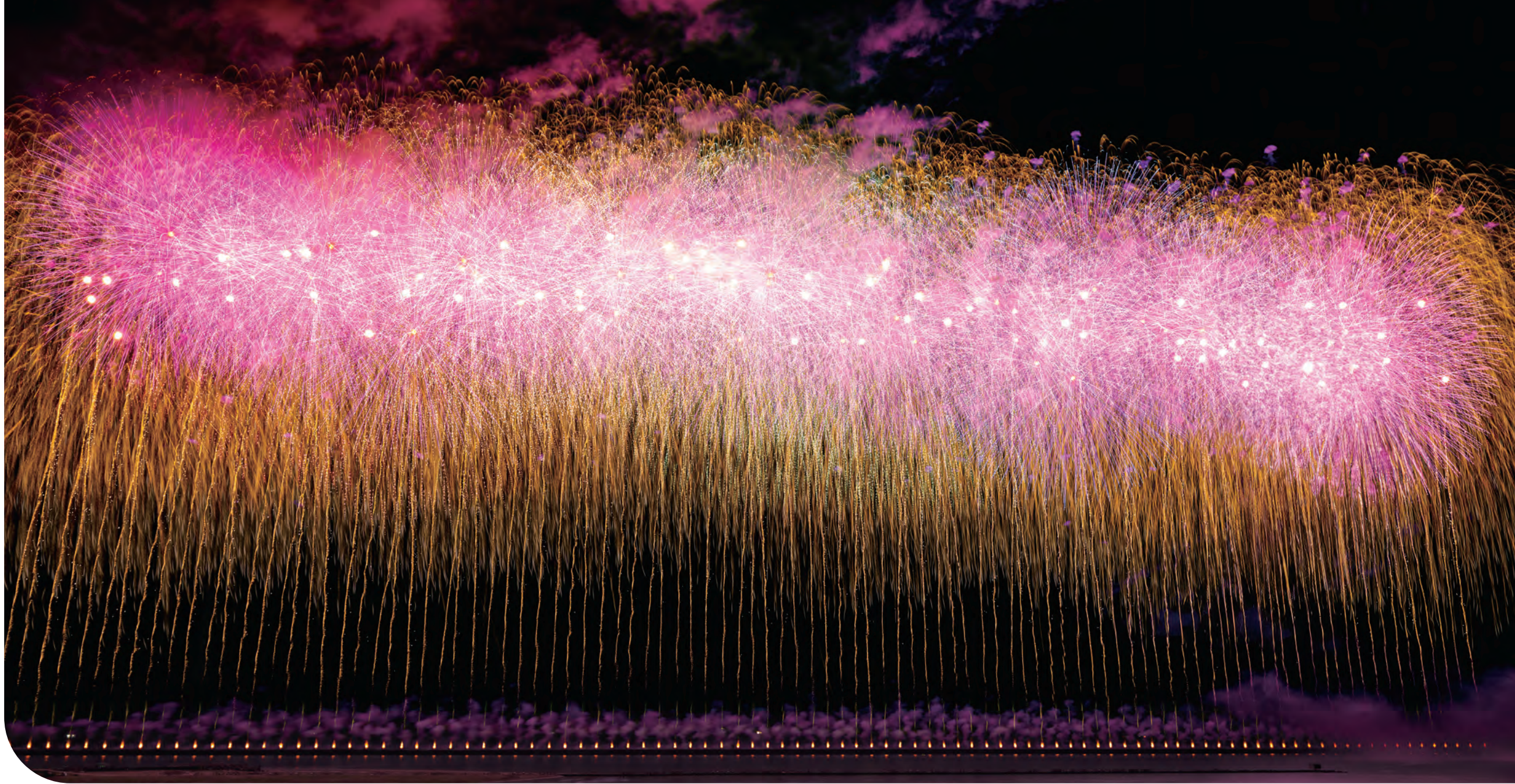


ぎおん柏崎まつり

海の大花火大会

日本海と夜空を彩る
豪華絢爛な海の花火



1 夜で 16,000 発を打ち上げ

日本海を舞台に開催する柏崎の海の大花火大会。越後三大花火大会の一つに数えられ、海を舞台にした花火大会としては、柏崎ほど打上範囲が広い会場は他にありません。

江戸時代末期、京都の八坂神社の流れをくむ柏崎の八坂神社が、祭礼に花火を打ち上げたのが始まりといわれています。明治、大正、昭和、平成、令和と時代が移り変わっても、柏崎の夏の風物詩として市民に親しまれてきました。

日本海の夕闇をスクリーンに、海に向かって打ち込まれる「海中空スターマイン」、長さ600mの堤防を使った「ワイドスターマイン」、

視界を埋め尽くす圧巻の演出

そして大迫力の「尺玉 100 発一斉打上（2 連続）」「怒涛の尺玉 300 連発」など海の柏崎ならではの花火が次々と打ち上がります。1 夜で 1 万 6 千発もの花火が打ち上がり、柏崎の夜を彩ります。

五感を研ぎ澄まし、空を埋め尽くすほどの豪華絢爛な花火をどうぞお楽しみください。



ぎおん柏崎まつり

柏崎が熱気に沸く3日間開催のお祭り。7月24日に民謡街頭流し、25日に山車やみこしが繰り出す「たる仁和賀」と続き、クライマックスを飾るのが26日の「海の大花火大会」です。



1



2



3

- 1 日本海の美しい夕日と紺碧の空を背景に繰り広げるオープニングスターマイン。
- 2 柏崎市民の協賛金で打ち上げる「柏崎市民一同」は、海上、海中、ワイドと柏崎の花火を詰め込んだ豪華絢爛な魂の大花火。
- 3 「怒涛の尺玉 300 連発」。尺玉を 300 発連続で打ち上げ、感動のフィナーレを飾る。

未来に残したい美

綾子舞

地域の誇りと情熱を胸に
未来へ伝承する美しい舞



小切子踊（高原田）



小原木踊（下野）

ユネスコ無形文化遺産 世界が認めた綾子舞

綾子舞は、柏崎市の中心部から南へ 16 kmほど離れた黒姫山の麓にある女谷地区で、約 500 年前から伝承されてきた古雅な民俗芸能です。かつては、いくつかの集落がそれぞれの芸風を守って綾子舞を続けていましたが、明治時代に入ると次第に途絶え、現在では高原田と下野の 2 つの集落にある座元が先祖伝来の芸風を守って受け継いでいます。

昭和 51（1976）年に第 1 回の国の重要無形民俗文化財の指定を受け、令和 4（2022）年 11 月、綾子舞を含む「風流踊」

動画もご覧ください
「500 年伝承される綾子舞」



がユネスコ無形文化遺産（人類の無形文化遺産の代表的な一覧表）に登録されました。綾子舞は「小歌踊」「囃子舞」「狂言」の 3 種類で構成されています。

地域で進む伝承学習と 伝承者養成講座

著しい過疎化により、綾子舞の担い手の確保が難しくなり、昭和 45（1970）年から旧鵜川小学校で「綾子舞伝承学習」がクラブ活動として開始、昭和 58（1983）年からは旧鵜川中学校でも伝承学習が始まりました。現在は、統合先の新道小学校の 3 年生から南中学校の 3 年生までの子どもたちが例年 60 人前後参加。学校を超えた特設クラブとして年 8 回の練習を重ね、その成果を秋の発表会で披露しています。

平成 3（1991）年度からは、綾子舞に関心を寄せる市民が直接伝承者から指導を受ける「伝承者養成講座」がスタート。綾子舞の担い手を確保する場や定期的な練習機会の場となっています。毎年 9 月に行われる現地公開や依頼公演などへの出演を目標に、大人と子どもと一緒に舞や笛・太鼓などの技術を磨いています。

綾子舞を構成する 3つの演目

小歌踊

室町の華やかさを表現した小歌に合わせて踊ります。扇の手振りや足を交差させる足さばきが優雅で、見る人を魅了します。高原田は 2 人、下野は 3 人で踊ります。

囃子舞

ユーモラスな歌と囃子に合わせ、男性が一人で演じます。決まった振りを繰り返すものと、囃子歌の文句に合うような物真似をするものの 2 種類に大きく分かれます。

狂言

能狂言風のもものと地狂言風のもものがあり、男性が 2 人以上で演じます。現存の流派になく若衆歌舞伎の演目にあるものを伝えているなど、初期歌舞伎の面影をよく残しています。



ほたるまつり



狸々舞（高原田）



三條の小鍛冶（下野）



伝承の里 綾子舞会館
柏崎市大字女谷 4529
☎ 無料
開 午前 9 時 30 分～午後 4 時
休 毎週水曜日、年末年始



伝承学習



伝承者養成講座（下野）



伝承者養成講座（高原田）

ご当地の美味

柏崎ブランド

鯛グルメや地域のブランド米
伝統とアレンジで魅力を創造



柏崎市認証米コシヒカリ 米山プリンセス

一等米コシヒカリの最高峰。有機肥料と豊かな水でプリンセスのように手塩にかけて育てられた、食味値85点以上の最上級のおいしさをお届けします。



葉月みのり

8月(葉月)に収穫できる極早生品種。粒が大きく甘みの強さが特徴です。



鯛

柏崎では古くから趣向を凝らした鯛料理が提供されてきました。中でも、写真の「鯛茶漬け」は「全国ご当地どんぶり選手権」でグランプリを獲得し、柏崎の名物となっています。



アラ

伝統漁法・桶流し一本釣りで獲る高級魚。うまみがあり、もちもちとした食感です。



もずく・海藻

柏崎は海藻の宝庫といわれ「笠島もずく」をはじめ、えごやわかめなどが獲れます。



たくましさを育む

水球のまち

水球がまちに活気を！



地域に根付いた水球

昭和39(1964)年の新潟国体を機に高校生水球チームを立ち上げ、柏崎の水球の長い歴史が始まりました。現在は、小学生から社会人までの全カテゴリーを擁する日本最大の水球クラブ「ブルボンウォーターポロクラブ柏崎」が活動。町中では、水球郵便ポスト・水球マンホール、新小学1年生の水球ランドセルカバー着用などが見られ、生活の中で水球を身近に感じることができます。



アジア圏の「水球の聖地」

柏崎は、リオ2016オリンピック、東京2020オリンピック、パリ2024オリンピックと3大会連続優勝したセルビア共和国代表チームのアジア圏での合宿地として定着。世界水球界から「水球のまち」と認知されています。

近年は、アジア圏をはじめとする多くの海外チームが水球合宿をするために柏崎を訪れており、今後は、海外チームとの水球交流を市民との文化・経済・教育交流へと広げ、地域の国際化を推し進めます。



先人が残してくれた宝

沿岸都市でありながら 3つの水道専用ダムをもつ！

日本海にせり出す霊峰米山、そのふところにある3つの水道専用ダムは、長い年月をかけて整備されました。

国定公園、県立自然公園内に立地していることから、集水区域は厳しい規制管理下にあります。そのため、海沿いにありながら、良質で安全な水道水を安定的に供給できる都市は他に類を見ません。

今では1年を通じて「冷たくておいしい」と定評があります。



赤岩ダム



川内ダム



谷根ダム

柏崎から
オリンピックが続々と！

水球男子



左から、パリ2024オリンピックに出場した、棚村克行選手、稲場悠介選手、新田一景選手、筈井翔太コーチ。リオ2016オリンピック、東京2020オリンピックに続き、3大会連続で日本代表選手を輩出しています。

セーリング男子



市内出身の富澤慎選手は男子iQFOiL級でパリ2024オリンピックに出場。日本セーリング界初となる、オリンピック5大会連続出場の大偉業を成し遂げました。

海あり山あり川あり

豊かな自然を体感

雄大な日本海と山々に囲まれ、
四季を満喫するアクティビティが充実



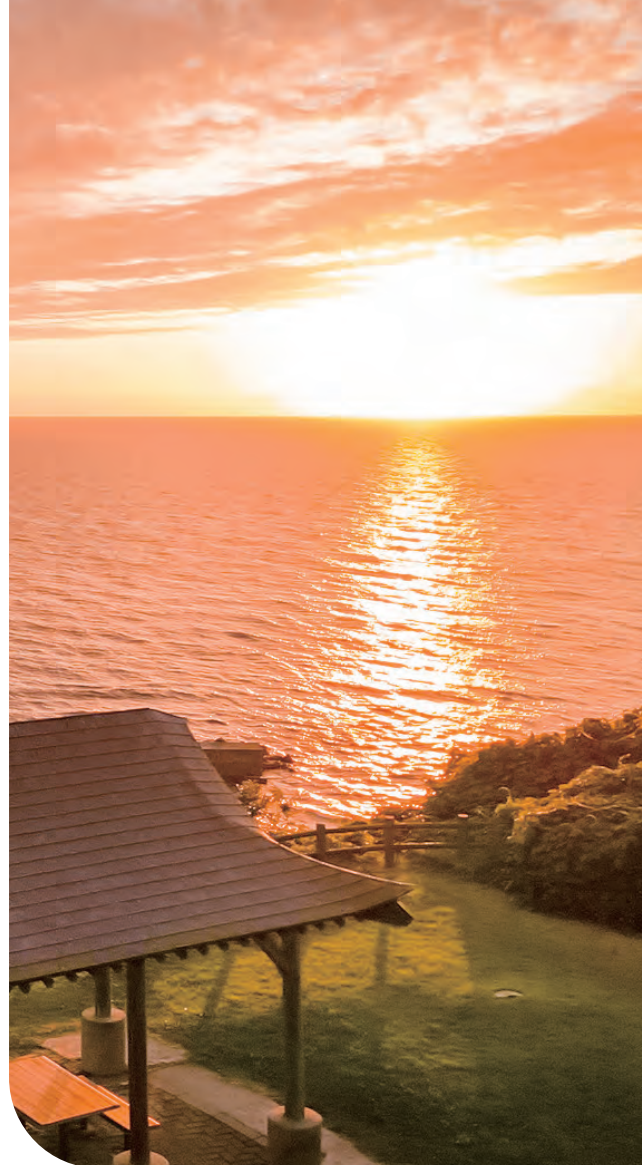
番神自然水族館

水族館跡地の岩場を利用して磯遊びや海の生物の観察を行なうことができるイベント。夏休みの自由研究や思い出作りとして参加する市民の多い人気企画です。



SUP（スタンド・アップ・パドルボード）

柏崎の海はマリンレジャーに訪れる方が多く、近年人気ののがSUPです。海の上をプカブカと、のんびり地平線を眺めたり魚たちの泳ぐ姿を観察したり、夕陽に包まれるもよし。



柏崎の夕日

総延長 42km にも及ぶ柏崎の海岸線には、美しい夕日が見えるスポットが点在。日本海に沈む、雄大な夕日は息をのむ美しさです。

自然と融合した サウナ



サウナ宝来洲



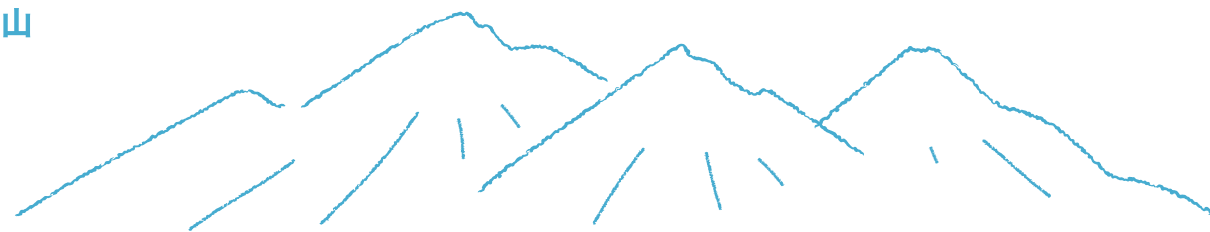
SHIYA VILLAGE



In Utero

海岸線にあるサウナや、里山にある一棟貸しのサウナなど、立地を生かした施設が続々オープン！ 柏崎ならではの「ととのう体験」をぜひ堪能ください。

刈羽三山



米山（標高 993m）

山頂に日本三大薬師の1つ米山薬師堂が建ち、360 度の展望が楽しめます。古くから豊作を祈願する人たちが訪れてきました。



刈羽黒姫山（標高 891m）

手軽にハイキングを楽しめる山として多くの人に親しまれてきました。山頂一帯はブナ林が残り、機織の神を祭った鵜川神社と石仏がたずんでいます。



八石山（標高 518m）

不動滝や屏風滝といった名瀑を抱いた名山です。山野草が多く、登山道が整備されているため、新緑や紅葉の季節の山歩きが楽しめます。

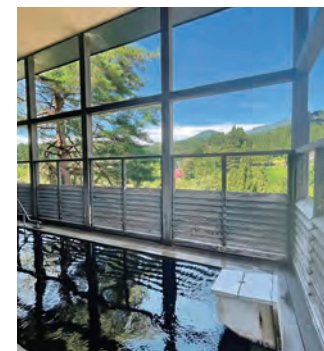
ゆうぎオートキャンプ場

豊かな森に囲まれたオートキャンプ場です。ログキャビンなどの施設も充実しており、アウトドアレジャーを楽しむには最適。屋根付きのバーベキュー施設もあります。



高柳じょんのび村

日本の原風景に出会える里山リゾート。茶褐色の温泉は、お肌がスベスベになると評判です。敷地内には宿泊施設（日帰り入浴可）やレストラン、お土産処などがあります。



自然を守るため、若手職員に技術の継承を

柏崎地域森林組合 大橋 俊さん

自然環境を守りながら木を生かしていく技術を継承したいと考え、若手職員の育成に力を入れています。柏崎地域森林組合には毎年2～3人の新入職員が加入。まずは仕事の楽しさを知ってもらい、自然の中での仕事の喜びを伝えています。木を切る仕事は繊細な感覚が大切なので、その感覚をしっかり身に付けられるよう、練習を繰り返し行います。

危険な面もありますが、その迫力や自然環境を守っているというやりがいがあります。若手職員が自信を持って仕事に取り組めるよう、これからも分かりやすい説明や丁寧な指導を行っていきます。



お客様の「来年も頼むね」が力に

富田 優さん（北条）

父、母、妻と一緒に、家族で米作りをしています。令和4(2022)年、米山プリンセスに初めて取り組みました。きっかけは「ダメだったとしても、一度チャレンジしてみよう」と思ったから。初年度に認証を受けることができ、それ以来毎年取り組んでいます。

米作りは天候に左右されるので、大変なことも多いです。それでも、自分たちが作った米を気に入って、毎年購入してくれるお客様から「来年も頼むね」という言葉にやりがいを感じています。今後は、さらなる販路拡大に向けた取り組みにも力を入れ、自慢の米を多くの人たちに届けたいですね。

